



# いきいきふるさと

発行/古里住民自治協議会 発行者/金子 祐三 編集/広報委員会 第68号

## “2021がんばろう古里!復興支援コンサート『お届け芸術館』”が開催されました

令和元年の台風災害から2年が経過し、被災地の復興は進んでおりますが未だに復興の途中の方も数多くいます。こうした中で災害の再認識と被災者の復興支援のため「復興支援コンサート」が11月20日(土)に開催されました。

当日は小春日和の暖かい日となり、約100名の皆さんに来場いただきました。今回は長野市芸術館の御協力により「お届け芸術館」としてプロのアーティストが2組4名参加し、「セシボン」や「愛の讃歌」からアンコール曲の「ふるさと」まで11曲にわたり歌と演奏を1時間半にわたり楽しんでいただきました。

第二部では、地元のコーラスグループ「ふるさとハーモニー」の皆さんによる「信濃の国」や「ふるさとの四季」など昔からの聞き覚えのある歌を披露いただきました。集まった皆さんの心に響いたようで、一緒に口ずさむ場面もありました。

また、被災地の災害時の状況と現在の復旧状況を写真で見る、復興支援写真パネル展「被災地の今」を同時に開催し、被災地の復興状況を写真で報告しました。

住民の皆様の記憶が年月の経過とともに薄れていく中、災害はいつ発生するか分かりませんので、災害時に的確な対応が行えるよう改めてその重要性を再確認したところです。



「お届け芸術館」のプロの演奏家2組4名



地元のコーラスグループ「ふるさとハーモニー」



## 古里子育てサロン



七夕祭り (7月26日)



クリスマス会 (12月20日)

広い室内に親子で集まって、一緒に遊んだりおしゃべりをしたりして楽しいひと時を過ごして、仲間づくりをしています。

コロナ禍のなかですがその時の状況に応じて、子育てサロンを開催してきました。



## 令和3年度 防災講演会

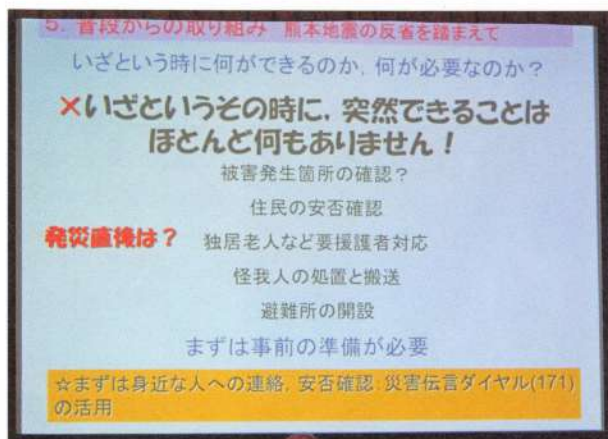


令和3年度の防災講演会は、今年もコロナ感染防止のため、受講者は区3役や自治協議会役員などに絞り53名の参加をいただき、10月6日（水）に開催されました。信州大学教授で地理学博士の廣内大助様に「大地震に備えるための地域の取組み」について講演をいただきました。

講演会では、2016年の熊本地震や身近では174年前に起きたマグニチュード7.4の善光寺地震などの被害状況を再確認し、その中から得られた教訓についてお話をいただきました。また、長野県及びわが古里地区の活断層とその被害予測については、例えば糸魚川―静岡構造線活断層帯が活動した場合には長野市において、死者600人、負傷者6,000人、避難者60,000人超などが想定されているなど、その被害の大きさに驚かされました。

そのための個人や自治組織としての備蓄や身の回りの準備として、①壊れない建物②最低限の備蓄③どうするか取り決めと日頃の訓練（住民のネットワーク）の三つが特に重要となることを事例をもとに説明いただきました。

改めて区を中心とした住民自治組織の役割の大きさと、地域内の助け合いと思いやりの大切さ、そしてそのための普段からの訓練を自分たちで取り組んでみる必要性を痛感した講演会となりました。





## 古里地区成人祝賀式



令和2年度 古里地区新成人



令和3年度 古里地区新成人

成人式を  
迎えた皆さま



上駒沢祭典保存会

令和4年の新春1月2日(日)古里総合市民センターにて、古里地区成人祝賀式が新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期されていた令和2年度と、今年の令和3年度がそれぞれ開催されました。

午前に行われた令和2年度には新成人49名が参加し(対象者142名)、午後の令和3年度には91名の参加(対象者137名)がありました。

今年もコロナ禍が続いておりますので感染対策を徹底し「オンラインによる事前申込み」を行い、当日は体温測定とワクチン接種・陰性証明の検査状況や2週間前からの体温等を記入した「健康チェック表」の確認を行い実施しました。

式典は「古里の歌」のCD静聴から始まり、住民自治協議会の金子会長の主催者式辞、来賓祝辞は荻原長野市長からのメッセージを上田古里支所長が代読ならびに勝山市議会議員よりいただきました。その後の成人者代表のことは、午前の令和2年度は西富竹の佐治木拓人さんから、また午後の令和3年度は西三才の駒村紅杏さんから力強い決意表明がありました。

アトラクションとして午前は下駒沢氏子保存会の子供獅子舞、午後の上駒沢祭典保存会の皆様による獅子舞で式を盛り上げていただきました。

祝賀会は開催できませんでしたが、好天に恵まれ式典後の会場外では久しぶりに再会した友人との会話が弾み、笑顔の花があちこちで満開に咲いていました。





【令和2年度成人者代表のこぼ】  
西富竹 佐治木 拓人

ご成人  
おめでとうございます!



獅子舞でお祝い



並んで並んで♪



古里住民自治協議会  
会長 金子 祐三



下駒沢氏子保存会



笑ってー!!



【令和3年度成人者代表のこぼ】  
西三才 駒村 紅杏



ピース!!

祝



荻原長野市長メッセージ代読  
上田古里支所長





## 古里地区福祉大会

12月11日(土)古里総合市民センターにて古里地区福祉大会が開催されました。社会福祉法人光仁会富竹の里常務理事・施設長の嶋田直人様を講師に迎え、「過去の自然災害に学ぶ災害にも強い地域づくり」と題して講演がありました。

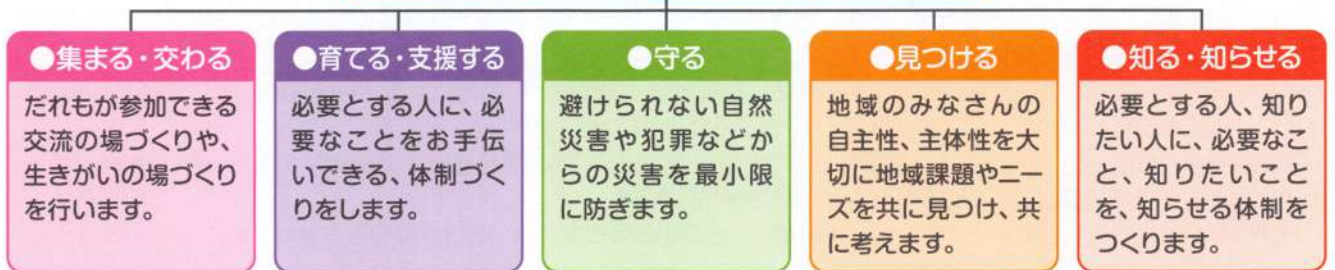
講演では、近年、猛威を振った自然災害の解説や洪水や土砂災害リスクの高い福祉施設や病院・学校等の水防法改正で避難確保計画作成及び避難訓練実施の義務化により、地域社会との連携による確実な避難の実現が求められています。それ以後、富竹の里では災害への備えを強固にするため、近隣の福祉施設との災害協定や情報収集、避難訓練を重ねている中、令和元年東日本台風により災害発生が起りましたが、これらの教訓が生かされ、いち早く無事に避難行動ができたとの実体験の話がありました。

世界的な気候変動により大規模な自然災害が発生しやすくなっており、災害時における避難では、自らの判断がなりより大事であり、住み慣れた地域で安心して暮らしているためには①自助：自分の命は自分で守る②互助：家族や近所も人たちと助け合う③共助：地域の安全はみんなで守る④公助：国や自治体が行う対策・支援の4つの役割が必要であると、災害時における要支援者・高齢者等の避難行動、避難体制について貴重な話を聞くことができました。



## 第三次 古里地区 地域福祉活動計画

誰もが安心して生活できる住み良い地域づくり



※現在、第三次古里地区地域福祉計画策定中です。年度内に全戸配布いたします。

## ふるさとのえんがわ



木製立看板



元気ハツラツ体操



ひと休みできるベンチを各区に配布

月1回、20分程度の短時間ではありますが、みんなで体を動かし、心と体をほぐしていただければと思います。

コロナ禍での開催の為、三密を避けて人が集えるように、内容を体操に絞っています。

最終的には各区にも同様の縁側が出来、交流の場に発展してくれれば良いと願っています。



## 令和3年度 古里住民自治協議会 部会の総括

### 1) 総務部会

本年度も「誰もがこの地に住むことに誇りを感じ夢と希望が持てる地域づくり」を目指し各種事業を推進してきました。しかし新型コロナウイルス感染の影響で日常生活にも大きな支障が生じ、予定された各種事業が中止や延期となるなかで、少子高齢化や地震・水害などの非常時対応等、取組む課題に地域住民・行政区と連携し「誰もが安心して生活できる安全な地域づくり」をめざし事業を推進してきました。

総務部会では、毎月開催される会議で、各部会、支部（区）及び関係諸団体との連携を図り、それぞれの活動が円滑に進むよう組織運営を進め、住民自治協議会や関係諸団体の事業内容等をお知らせする広報活動と環境美化活動を実践しました。

- 市・県など行政機関との連携：「ようこそ市長室」で古里地区の要望の懇談／古里地区の土木工事要望書提出・現地調査
- 住民自治協議会の組織・運営の統括～来年度ウェブサイト立上げ準備
- 支部活動の充実～支部（区）との連携強化取り組み
- 広報誌「いきいきふるさと」の発行：事業の縮小や中止に伴い年4回の発行
- 環境美化活動の推進：河川清掃（春季は中止）は実施

### 2) 安心・安全部会

安心・安全部会の令和3年度活動方針「交通安全街頭啓発活動、防犯パトロール、防災訓練などを実施し、安心安全な地域づくりに努める」に従って活動してまいりました。

お陰様で、毎月第一水曜日の交通安全マナーアップ運動や年2回(夏・年末)の防犯パトロール、及び白線引きやカーブミラー清掃なども各区代表委員の皆様のご協力により実施いただき、地区活動として定着しています。また、「社会を明るくする運動」講演会を7月に、防災講演会を10月にそれぞれ実施し、意識向上や啓蒙活動に努めました。

当部会の主要事業であります防災訓練は、住自協及び各区自主防災会において実施いただきました。令和2年度に改刷された「古里版 安心・安全防災マップ」を活用し、住民の防災意識の向上に繋がることを目指しました。日頃から、「わが家の避難行動確認シート」を作成するなど、防災マップを身近に置いて万全の備えをお願いいたします。

### 3) 福祉・健康部会

「誰もが安心して生活できる住み良い地域づくり」を目指し「第三次古里地区地域福祉活動計画(令和4年度～令和8年度)」を策定しました。

コロナ禍において事業が制約されましたが、地域活動計画に基づく要支援者や高齢者の緊急時の支援に対応すべき検討会、古里地区福祉大会を開催しました。

また、三部会共催による「社会を明るくする運動」の講演会、公民館との共催による「男の料理教室」を開催しました。さらに「ふるさとのえんがわ・はつらつ体操」や「古里子育てサロン・民協共催」を実施しました。

援護事業は「母子・父子家庭支援」は豊野りんごの湯利用券の配布、「高齢者等年末慰問援護」はカレンダーの配布、「母子・父子家庭・生活保護家庭支援」では新入学お祝い品を配布しました。

各地区支部ではコロナ感染防止の万全な対策を講じ、お茶のみサロン、はつらつ体操等を随時開催しました。

### 4) 文化教育部会

本年度も中核事業3「子どもたちの健やかな成長と青少年の健全育成」を目標に、4つの委員会で事業を推進いたしました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で予定された事業が中止せざるを得ない状況になり、世代を越えたふれあいや、地域の文化・歴史・伝統等を学ぶ機会が持てなかったのが非常に残念でした。

《計画した事業の状況》

【公民館活動委員会】親善ゴルフ大会、令和2年度・3年度成人祝賀式を実施し、文化芸能祭や地域親善球技大会等は実施できませんでした。

【育成会活動委員会】各地区育成会とのスポーツ交流会は実施できませんでした。

【青少年育成委員会】東北中学校での下校時あいさつ運動を8回計画、6回実施し、子どもを守る会と連携し登下校時の安全見守り活動を行いました。更生施設への研修は実施できませんでした。

【人権共生委員会】人権住民集会は実施できませんでしたが、古里小・徳間小・東北中より人権啓発標語を募集し掲示しました。

### 5) ふるさと部会

令和3年度は新型コロナウイルスの感染症予防対策のため予定していた事業は中止となりました。

令和4年度に向けて屋外学習として例年通りホテル観賞、勉強会として市政出前講座を利用して講演会を予定しています。

継続事業のふるさと探訪（歴史）は古里地区で既に発行済み（4冊）を参考にして進めて参ります。